

を世界中からシンガポールに集結させる。A\*STAR と提携し、シンガポールの技術力を強化し、世界トップクラスの診療用のアプター研究開発拠点を整備する」と述べています。

バイオポリスには多くのバイオ医療メーカーや研究機関が進出し、アジアでの医療ニーズを満たすため様々な治療法の研究を行っています。政府は、より多くの機関がバイオポリスに進出できるよう、バイオポリスの延べ床面積を2010年の年末までに4万2700平方メートル拡大します。これにより、研究敷地は27万8700平方メートルまで拡大することとなります。

## Business News 02

### NTU、IBMと高性能コンピューティングとクラウド・コンピューティングで共同開発

南洋工科大学(NTU)はIBMと共同で、クラウド・コンピューティングと高性能コンピューティング(HPC)を併せ持つプラットフォームの研究開発を行うことを発表しました。既にアート・デザイン学部、サイエンス学部、工学部がIBMと連携しており、今回のプロジェクトにより、これらの研究分野が拡充されることとなります。

アート・デザイン学部では、アニメーション開発にパワフルな処理能力を提供する研究を行っており、HPCとクラウド・コンピューティングを取り込むことで、今後は画像3次元化と関連活動の並行処理、ソフトウェアやコンセプトの実験も迅速に行うことができるようになります。サイエンス学部と工学部では、HPCとクラウド・コンピューティングの融合で演算能力を高め、その一方で並行処理の垣根を低くする取り組みが行われています。今後は、サイエンスや工学分野にあった環境をカスタムメイドかつオン・デマンドで提供できるようになります。

NTUはASEAN最速で最も環境にやさしいスーパーコンピュータセンター(HPCC)を活用して、HPCとクラウド・コンピューティングを融合します。革新的な技術を生み出し産業に適用できる研究開発を行う、グローバルな拠点としてのシンガポールの地位が強化されることとなります。

## Business News 03

### IBM、ハイエンド・メインフレーム・サーバーの製造拠点をオープン

IBMは東部タンピネス(Tampines)にメインフレーム・サーバー「System z」とハイエンド・電力システムの製造拠点「IBM シンガポール・テクノロジー・パーク(ISTP)」を開設しました。投資額は約57.6億円(9000万SGD)で、6月に稼働を開始し、2010年第四半期にフル稼働に達する予定です。

アジア、アフリカ、欧州のIBMハイエンド・システムを使用し

ている顧客を対象とし、3.39万平方メートルの施設で、「System z」やサーバ・プラットフォーム「IBM Power Systems」の生産を手がけるほか、関連のハードウェア製品も製造します。

開所式に出席したターマン・シャンムガラトナム財務大臣は、シンガポールとIBMの57年におよぶ長い歴史にふれ、「ISTPの設立は、シンガポールが複雑な高付加価値製品の製造能力とグローバルなサプライチェーン管理能力を備えていることを証明している。シンガポールがデジタル知能を活用した知識集約国家のリーダーとなる能力を高める」と述べています。

IBMは、製造施設の設立理由として、最適化されたシステムを使用したハイテクITインフラに投資する顧客がアジアで急増していること、さらにシンガポールには製造プロセスに欠かせない優秀な人材・サプライヤーがいることをあげています。



## Business News 04

### 日立、EDBと社会インフラ整備事業で連携

日立製作所はEDBと社会インフラ整備事業で協力する覚書を交わし、現地法人である日立アジアシンガポール(Hitachi Asia Ltd.)を通じて、新興国のスマートグリッド、水処理、セキュリティ、都市交通などの分野で連携していきます。

シンガポールはここ数年、環境に配慮した都市計画に注目しており、その一環としてEDBは「都市ソリューションプロジェクト」を立ち上げました。環境技術、交通、通信技術などの幅広い分野で民間企業と研究や実証実験を進め、大気汚染、温暖化ガスの増加、交通渋滞など都市化が引き起こす様々な問題に取り組んでいます。

日立は、日立アジアシンガポール内に社会インフラ事業の最新技術とソリューションの研究開発センターを新設、シンガポール国内で実証実験に参加する計画のほか、シンガポールの企業などを通じ、新興国の社会インフラプロジェクトに参画する予定です。

日立はまた、シンガポールと中国政府が進めている環境配慮型の都市計画「中国・シンガポール天津エコシティ」に参加し、環境技術とソリューションの提供を行っています。